

# 矯正保護帰国研修員巡回指導班

## 報 告 書

国際協力事業団  
研修事業部

100  
482  
TAD

研 管
J R
80-2



# 矯正保護帰国研修員巡回指導班

## 報 告 書

JICA LIBRARY



1046865[C0]

国際協力事業団  
研修事業部

国際協力事業団	
受入 月日 '84. 3. 12	100
登録No. 00117	48.2
	TAD

## はじめに

この報告書は、我が国が実施してきた矯正保護関係コースに参加した帰国研修員に対するアフターケア業務の一環として、昭和55年1月21日から2月6日までの17日間、インド、スリランカ及びバングラデシュの3ヶ国に派遣した矯正保護指導班の業務報告である。

本書が、帰国研修員の活動状況、彼らが抱えている諸問題、要望等について関係各位の一層深いご理解をいただくための一助となり、今後の研修コース、また研修員受入事業の改善に資することができれば幸いである。

なお、本件の実施のためにご協力を賜わった外務省、法務省、アジア極東犯罪防止研修所及び現地において数々のご指導とご協力を賜わった在外公館並びに関係機関の皆様には深甚の謝意を表したい。

昭和55年4月

研修事業部長



## 目 次

I. 総 論 .....	1
1. 派遣国及び派遣期間 .....	3
2. メンバー .....	3
3. 日 程 .....	3
4. 巡回指導順路 .....	6
II. 各国別調査内容 .....	8
1. バングラデシュ .....	8
2. イ ン ド .....	12
3. スリランカ .....	18
III. 結 論 .....	21
参考資料	
1. 帰国研修員に対する質問書 .....	25
2. 訪問機関名簿 .....	26
3. 面接者名簿 .....	28
4. 帰国研修員名簿 .....	34



## I 総論

当指導班は、昭和55年1月21日から2月6日までの17日間、バングラデシュ、インド、スリランカの3ヶ国を訪問し、アジア極東犯罪防止研修所の国際研修に参加した帰国研修員に対して巡回指導を実施した。

この巡回指導にあたって、当指導班が重点目標としたのは次の諸点である。(1)できるだけ多くの帰国研修員に会い、彼らの活動状況を把握する。(2)帰国研修員及び関係職員から研修、調査研究等当研修所の活動に対する評価、意見、要望を聴取し、当研修所の今後の活動のための参考にする。(3)矯正施設(少年院、刑務所等)及び刑事司法(警察、検察、裁判)機関を訪問し、犯罪者処遇及び犯罪防止の分野における実状と問題点を把握し、当研修所の今後の研修活動のための参考にする。(4)帰国研修員及び関係職員に対して、アジア諸国における犯罪の動向と対策、矯正施設及び刑事司法機関の活動状況、犯罪者処遇及び犯罪防止に関する新しい試み等について最近の新しい情報を提供する。(5)訪問国における犯罪情勢と対策、犯罪者処遇及び犯罪防止に関する制度とその運用等についての資料を収集する。(6)犯罪の背景をなす経済的、社会的、文化的諸条件についての理解を深める。なお実施にあたっては、巡回指導員の専門を考慮し、刑事司法の諸分野のうち、犯罪者の処遇(矯正、保護)の分野を中心とした。

当研修所の国際研修を修了した帰国研修員は、バングラデシュ21名、インド37名、スリランカ37名であるが、今回の巡回指導では、このうちバングラデシュ13名、インド21名、スリランカ14名に会い、彼らに直接面談したほかあらかじめ送付した質問紙(別添資料-①)により研修、調査研究等当研修所の活動に対する評価、意見、要望を調査した。その結果については、後に詳しく述べるが、当研修所の研修は、いずれの国の帰国研修員によっても高く評価されており、特にインド、スリランカにおいては、わが国の矯正職員研修、少年院における処遇、刑務作業、保護司制度等を参考に犯罪者及び非行少年の処遇を発展させるための努力が真剣になされているのが注目された。当研修所の今後の活動については、特に調査研究面での充実を望む意見が多かった。

今回の巡回指導において訪問した矯正施設及び刑事司法機関は、バングラデシュにおいては、トンギ少年院、少年裁判所以下8施設、インドにおいては、社会福祉省、社会防衛研究所、警察大学、モウラ・アリ開放刑務所以下14ヶ所、スリランカにおいては、法務省、少年裁判所、パレケレ開放刑務所、矯正職員研修所以下13ヶ所であった。矯正施設についていえば、老朽化した建物、設備、訓練された職員の不足あるいは裁判の遅延、政治犯の増加、施設の不足等による過剰収容等各国とも種々の困難な問題を抱えている。しかし、こうした多くの困難にもかかわらず各国においては、犯罪者、非行少年の処遇の充実のための真剣な努力がなされており、特にインド、スリランカにおいては、受刑者、収容少年に対する開放施設処遇が意欲的に進められていた。

帰国研修員及び関係職員に対する新しい情報の提供については、当研修所の最近の調査研究に

より作成した資料（① Crime Trends and Crime Prevention Strategies in Asia and the Pacific Region, ② Alternatives to Imprisonment in Asia, ③ Crime Prevention and Criminal Justice, ④ Regional Training and Research Programme on Crime Prevention and Criminal Justice in Asia）を配布するとともにこれに基づいてセミナーを実施した。各国ともこの種の資料、情報が不足していることから資料の配布及びセミナーの実施は、非常に好評であった。セミナーにおいては、特に保護観察等社会内処遇の充実強化のための方策をめぐっての討議が活発に行われた。

当研修所の研修活動を更に充実発展させていくためには、関係諸国における犯罪防止及び犯罪者処遇の実態について正しい認識をもつことにより、各国及び研修員が真に期待するところのものを十分に理解することが不可欠である。また、研修の効果を真に実りあるものにするためには、帰国研修員に対するフォローアップは極めて重要である。巡回指導の実施については、かねてから多くの帰国研修員により強く要望されていたことであったが、今回の巡回指導はこうした要望に応えるとともに、当研修所の今後の活動の充実を図る上でも極めて有意義であった。

1. 派遣国及び派遣期間

昭和55年1月21日から2月6日まで(17日間)

インド, スリランカ, バングラデシュ

2. メンバー

法務省アジア極東犯罪防止研修所教官 大 山 勝 典

法務省アジア極東犯罪防止研修所教官 松 本 勝

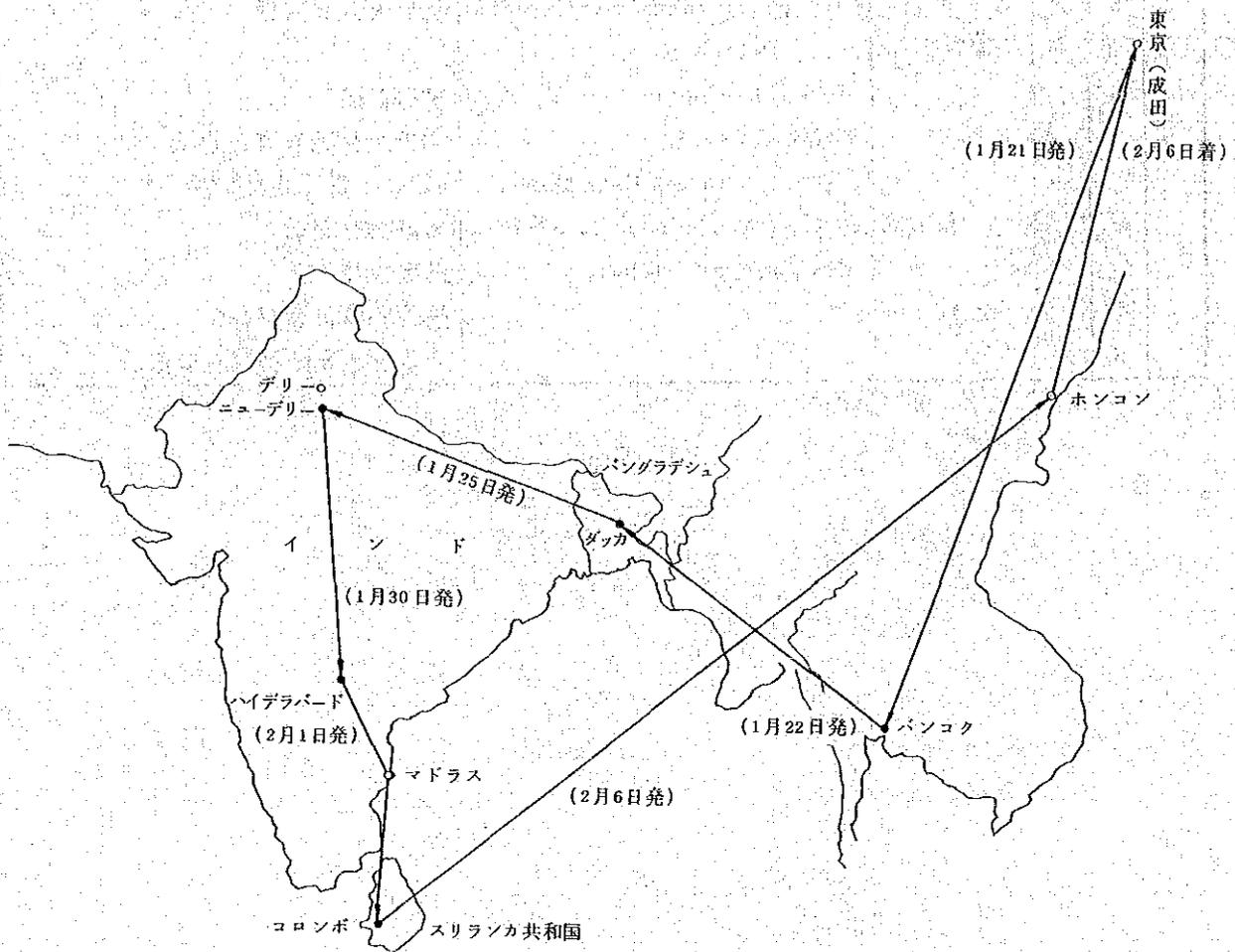
3. 日 程

月	日	曜	訪問国	訪問機関及び施設	行 動 内 容
1	21	月	(タイ経由)		東京(成田)発→バンコク着
	22	火	バングラデシュ	JICA Office Embassy of Japan	バンコク発→ダッカ着 JICA事務所長と日程打ち合わせ 大使表敬
	23	水	"	Ministry of Law & Parliament Affairs	事務次官表敬及び帰国研修員と懇談
				Ministry of Manpower & Social Welfare	事務次官表敬及び帰国研修員と懇談
				Office of Attorney General Supreme Court	検事総長表敬 事務総長表敬及び法廷参観
	24	木	"	Tongi Juvenile Court, Remand Home, and Correctional Institution	矯正局長, 治安判事及び少年院長よ り概況説明, 運営上の諸問題につい て話し合う。施設参観
				Tongi Refugee Camp	難民キャンプ職業訓練所見学
				Supreme Court Bar Associati- on (Seminar)	弁護士会幹部と懇談 帰国研修員に対するセミナー開催
				External Resources Division, Ministry of Finance	次官補と研修員受入につき意見交換
	25	金	"	Embassy of Japan	大使に報告
				JICA Office	JICA事務所長に報告
					ダッカ発→デリー着
	26	土	インド		共和国記念日, バレード見物
	27	日	"		休 日
	28	月	"	JICA Office	JICA事務所長と日程打ち合わせ
				Embassy of Japan	公使表敬
				Department of Economic Aff- airs, Ministry of Finance	次官補と研修について意見交換
		Ministry of Social Welfare	事務次官表敬及び帰国研修員と懇談		

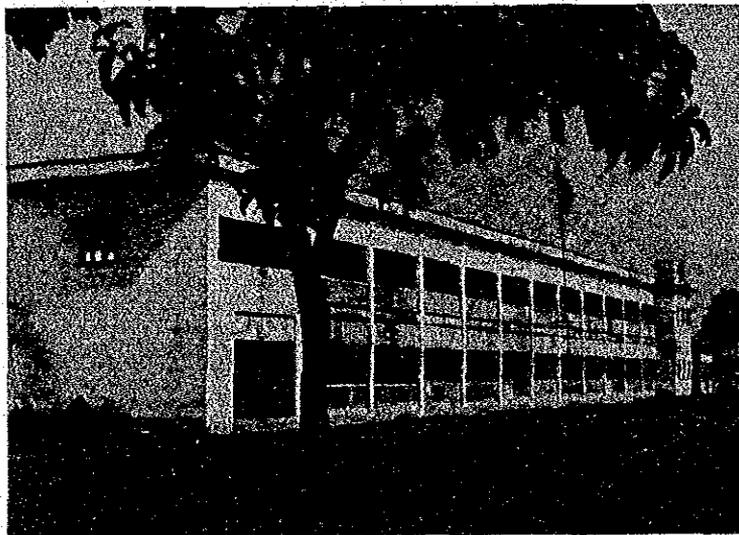
月	日	曜	訪問国	訪問機関及び施設	行 動 内 容
1	28	月	インド	Ministry of Home Affairs National Institute of Social Defence	次官補表敬 所長の概況説明及び教官等と意見交 換
	29	火	〃	Tihal Jail Delhi Remend Home Office of Secretary of Law and Judicial Administration High Court  (Seminar)	施設見学 施設見学 局長(研修員)の概況説明  高等裁判所判事表敬, 事務局長と懇 談 帰国研修員に対するセミナー及び懇 親会開催
	30	水	〃 (ハイデラバード)	Home Department, Andhra Pr- adesh State Office of Inspector General of Police & Director of Correctional Services  (Seminar)	デリー発→ハイデラバード着 内務長官表敬 矯正局長表敬  帰国研修員に対するセミナー開催
	31	木	〃	National Police Academy Central Prison Girls Certified School Moula Ali Agriculture Colo- ny	見学及び教官と意見交換 施設見学 施設見学 施設見学
2	1	金	スリランカ	Ministry of Justice Embassy of Japan  (Seminar)	ハイデラバード発→マドラス→コロ ンボ着 法務大臣及び事務次官表敬 大使表敬 帰国研修員に対するセミナー開催
	2	土	〃	Borstal School for Juvenile Offenders Pallekela Open Prison Camp Open Remand Camp	施設見学及び職員と懇談 施設見学及び職員と懇談 施設見学
	3	日	〃	Anuradhapura Open Prison Camp	施設見学
	4	月		Negombo Open Prison for Yo- uthful Offenders Center for Research and Tra- ining in Corrections Mithirigale Work Release Ce- ntre	施設見学及び職員と懇談 教官及び研究官と意見交換 施設見学

月	日	曜	訪問国	訪問機関及び施設	行 動 内 容
2	5	火	スリランカ	Office of Inspector General of Police Juvenile Court Family Court District Court Chambers Ministry of Social Services Ministry of Justice	長官と意見交換  審判参観 判事及び調査官と懇談 判事 15名と意見交換 事務次官表敬 記者会見 帰国研修員と懇親会
	6	水			コロンボ発→香港→成田着

#### 4. 巡回指導順序

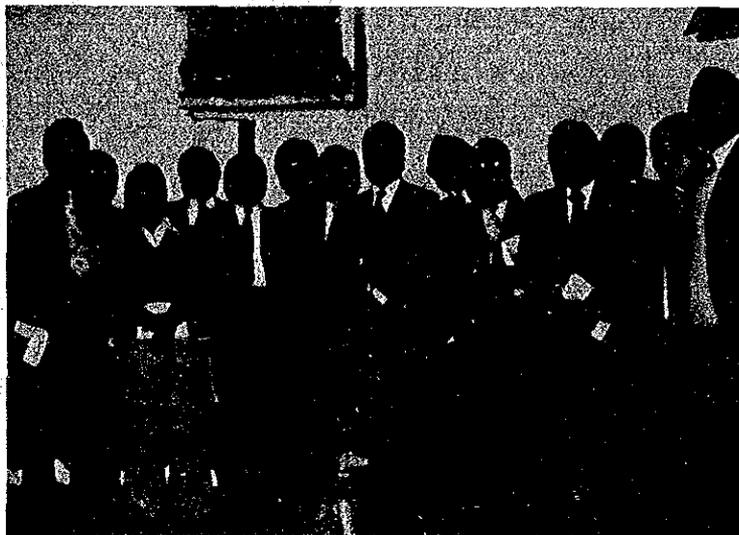


バングラデシュ。  
人材開発・社会福祉省にて  
ソフダー事務次官を囲んで



バングラデシュ。  
トンギ少年院

バングラデシュ。  
帰国研修員とともに  
(ダッカ)



## Ⅱ 各国別調査内容

### 1. バングラデシュ

#### 1-1 帰国研修員の概況

帰国研修員総数21名で関係外機関へ転出した者2名であり、それらを除いて現在関係機関に所属している帰国研修員は19名である。そのうち面会したのは13名であり、その内訳は次のとおりである。（詳細は別添資料③参照）

- (1) ダッカ都市部警視總監
- (2) 人材開発・社会福祉省社会福祉局次長
- (3) 同省社会福祉課長
- (4) 法律・議会担当省刑事司法課長
- (5) 同省事務官
- (6) 警視庁次長
- (7) チタゴン地方裁判所判事
- (8) 少年院長
- (9) 保護観察官（2人）
- (10) 矯正・社会改革委員会事務局長
- (11) 婦人指導協会企画課長
- (12) 郵政省次官補

訪問した機関は、法律・議会担当省、人材開発・社会福祉省、最高裁判所、トンギ少年裁判所、少年院、リマンドホーム、大蔵省海外資源局の計7カ所である。

#### 1-2 訪問機関の概況

##### (1) 法律・議会担当省

チャウドリイ事務次官に表敬する。当省は刑事司法関係の法律を含めたすべての法律の草案作成を担当する機関である。1971年の革命戦争により独立した新生バングラデシュは、インド、パキスタン時代の法律制度をいまだ踏襲しているが、その一部ないし全部の法律改正が行われており、当省は法律成作のための草案作りで多忙である。なお、全国の裁判所の行政事務も担当している。

##### (2) 人材開発・社会福祉省

ソフダー事務次官に表敬する。当省は少年に対する保護観察及び少年院を含めた社会福祉行政並びに専門技術者の養成、労働者のための海外移動先の開発、難民収容キャンプの管理などの人材開発全般を所管する機関である。

### (3) 最高裁判所

白亜の二階建ての建物に大法廷及び小法廷のほかには検事総長執務室、弁護士会本部が併設されている。検事総長、最高裁判所事務総局長及び弁護士会長に表敬する。

### (4) トンギ少年裁判所、少年院及びリマンドホーム

同一敷地内に3つの施設が併設されている。児童法（1974年）及び児童規則（1976年）に基づき、1977年に設立されたバングラデシュ唯一の少年矯正のための機関及び施設である。少年裁判所とリマンドホームは同一建物であり、裁判所には治安判事1人が配属されている。リマンドホームは収容定数100人で非行少年で保護者に問題があったり、保護者がいない場合に収容される。

少年院は、収容人員100人であり、学科教育を中心に宗教教育、職業訓練（農業、機織り、メッキ作業、自転車・オートバイ修理）を実施している。二階建ての建物には、居室、教室、礼拝場、食堂などがある。院長（研修員）のほか次長2人、ケースワーカー4人、寮父母、教員など45人の職員で構成されている。

## 1-3 研修に関する評価と要望

### （評価）

研修全般については、アジア研において各国研修員及び日本人研修員と接触し、彼らから多くの関係知識を得られたことがいちばん大きな成果であり、そのことにより、帰国後は刑事司法制度全体の中で自分の仕事を考えることができるようになり、また、国際的な視野からものを考えることができるようになったと研修の成果を高く評価している。具体的には、(1)日本の警察の交番制度を参考にしてダッカ市内に交番を配置した。(2)司法委員会において各地域ごとに家庭裁判所及び少年裁判所を設置すべきことを勧告した。(3)刑務所改革委員会において日本の犯罪者の処遇制度に関して報告し、開放刑務所の設置、少年施設の充実、保護観察の積極的活用について勧告した。(4)その他、法案作成にあたり研修で学んだアイデアを漸次採り入れている。

### （要望）

研修コースごとに主要テーマを定めて行う現在のやり方は継続すべきであり、研修カリキュラムに関しても概してよく統一のとれた内容であると評価しているが、特に要望として次のような点があげられている。

中堅以下の職員に対してはより一般的な研修も必要である。将来採りあげて欲しいテーマとしては、①少年非行、②薬物、③犯罪防止及び犯罪者の処遇における女性の役割、④国際法、⑤犯罪者処遇における公衆の参与、⑥刑務所の過剰拘禁の諸問題などである。

研修員の構成については、刑事司法の各分野からの参加者によって構成する現在のやり方

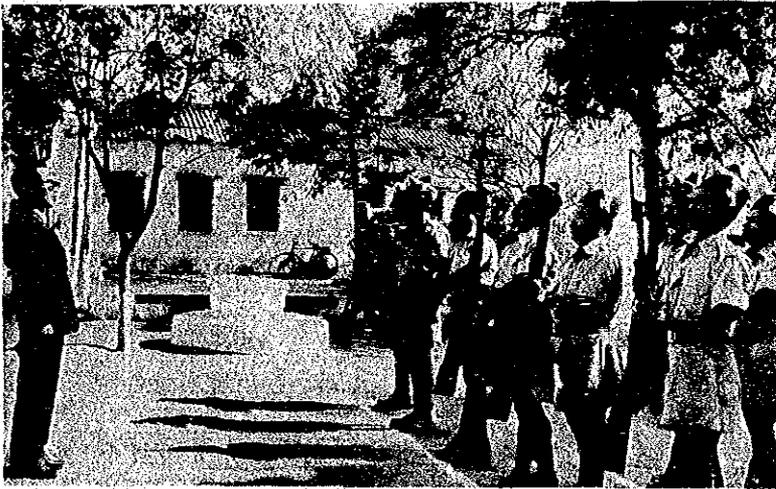
は継続すべきであるが、できるだけ実務家を集めるべきだ。また、特殊なテーマで一定の職種の参加者で構成するコースもあってよい。

コースの期間については、多くの研修員が現在行っているセミナー5週間、研修コース3カ月間が適当であるとしているが、一部には研修コースは6カ月、逆にセミナー参加者は高官であるから長期間職場を留守にできないことから3週間が適当であるとする意見もあった。

研修設備については、アジアの刑事司法制度及び国連関係の資料・図書の充実が望まれる。そのほか、礼拝のための特別室の設置、ムスリムの人々は肉を食べないのでもっと料理に選択の余地が欲しい旨の要望があった。

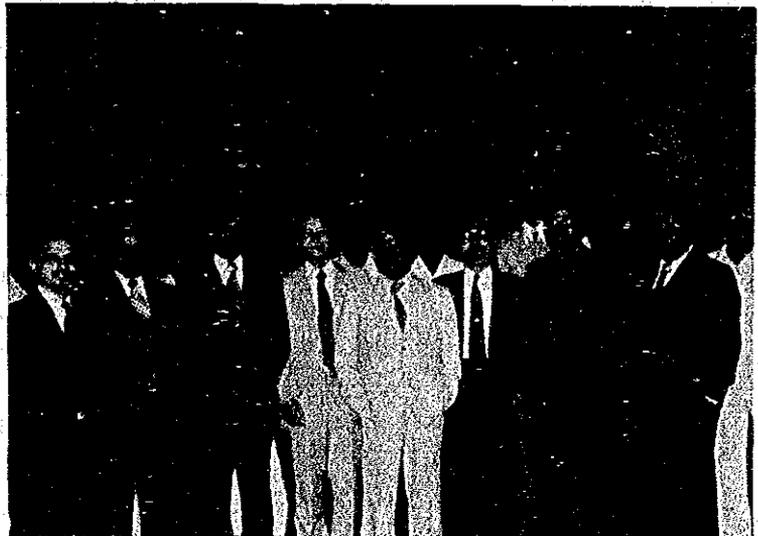
同窓会は今回の研修のフォローアップを契機に新たに結成されたが、同窓会活動のあり方について指導して欲しい、また、他国の同窓会とも連絡をとり合いたいし、同窓会が主催するWorkshopにアジア研スタッフを講師として派遣して欲しい旨の要望もあり、新たに発足した同窓会の幹事はその運営に積極的な姿勢を示していた。

インド・デリー、テイハール  
刑務所中庭風景



インド・ハイデラバード中  
央刑務所を訪ねて

インド・アンドラ・プラデシ州  
内務長官及び幹部職員とともに



## 2. インド

### 2-1 帰国研修員の概況

帰国研修員総数37名中死亡した者1名、退職した者7名であり、それらを除いて現在関係機関に所属している帰国研修員は29名である。そのうち面接したものは21名であり、その内訳は次のとおりである（詳細は別添資料③参照）。

- (1) 社会福祉省次官補
- (2) 国立社会防衛研究所長
- (3) 同所次長
- (4) 同所上度調査研究官（3人）
- (5) 高等裁判所判事（2人）
- (6) 法律・司法行政局長
- (7) デリー地方裁判所判事（3人）
- (8) 中央捜査局次長（2人）
- (9) 法律・司法・経済省次官補
- (10) インド社会健康協会事務局長
- (11) アンドラ・プラデシ州矯正局長
- (12) 国立警察大学校長
- (13) アンドラ・プラデシ州矯正局保護観察部長
- (14) ハイデラバード中央刑務所部長
- (15) タミール・ナド矯正研修所長

訪問した機関は、大蔵省経済局、社会福祉省、内務省、国立社会防衛研究所、テイハール刑務所、デリーリマンドホーム、高等裁判所、法律・司法行政局、アンドラ・プラデシ州内務省、同州矯正局、同州中央刑務所、同州認可女子補導院、モウラ・アリ開放刑務所、国立警察大学の計14カ所である。

### 2-2 機関の概要

#### (1) 大蔵省経済局

ラダシenge次官補に表敬した。当省はインドにおける研修員の派遣事務を所管している。研修員の選考と手続について意見を交換したが、研修要綱を全州に配布し申請を受け付けるので最少限6カ月の期間が必要であることがわかった。研修員の選考については、公平に行われているように思われた。

#### (2) 社会福祉省

サラン・シン事務次官に表敬した。当省はインドにおける社会福祉全般、例えば児童福祉、

婦人福祉、保護観察及び社会防衛などを管轄する機関であり、外郭機関として社会福祉中央委員会、国立社会防衛研究所などを有している。しかし、連邦制の強いインドでは各州の政策を左右する権限はなく、連絡調整や助言の役割を果たしたり、また対外的にインド連邦を代表する機関にすぎない。

(3) 内務省

シャラン次官補に表敬した。当省はインドにおける警察行政を所管する機関である。警察関係の研修員の帰国後の活動状況について情報を交換した。

(4) 国立社会防衛研究所

当研究所は1961年、矯正業務の中央機関として設立されたもので、調査研究・統計部、研修部及び事務局で構成されている。調査研究・統計部は、犯罪や非行の防止、それらに陥った者に対する矯正、更生及び福祉などに関する調査研究を行い、各州に助言し資料を提供する。研修部は、矯正保護の分野で働く全州の職員を対象に研修を行い、かつ各州の矯正職員の研修に対してスタッフを派遣している。職員は全部で40名であり、所長、次長、上席研究官3名の計5名が帰国研修員である。定期刊行物など各種の資料を発行しているが、非行や犯罪関係の情報交流のほかにUNAFEIとの共同研究や共同研修の実施を希望していた。

(5) ティハール刑務所

デリー市内にある唯一の刑務所で1958年に設立された。60エーカーの敷地と70エーカーの農場があり、敷地内は青少年区、政治犯区、精神病区、女性区などに分けられている。職員は所長以下240名、収容定数1,275名に対して訪問時2,493名、うち女子27名が収容されており、定数の二倍の過剰拘禁状態であった。毎日4～500名の未決拘禁者を裁判所へ出頭させ、100名前後の入退所者をさばいており、多忙のようであった。

(6) デリーリマンドホーム

デリーにある唯一のリマンドホームであり、以前は民間施設であったが1953年から現組織になり、社会福祉省の所管である。収容少年に対しては、学科教育と職業指導が行われる。丁度裁判の開廷日にあたり、治安判事による少年審判を2件見学した。デリーには保護観察官が142名おり、1979年には4,400件の保護観察事件と6,000件の判決前調査を処理している。

(7) デリー高等裁判所

高等裁判所判事に表敬した後、大法廷及び小法廷を参観した。

(8) 法律・司法行政局

事務局長コチャール氏（研修員）を訪問し、インドの検察行政について話し合った。日本の検察官による起訴便宜主義の制度に強い関心を示していた。

(9) アンドラ・プラデン州内務省

長官に表敬した。当庁はアンドラ・プラデン州の警察及び矯正保護行政を所管する機関である。

(10) アンドラ・プラデン州行刑局

当局は州政府内務省の下にあるもので、同局の下に行刑部とプロベクション部の2部があり、前者は中央刑務所(4)、地方刑務所(9)、開放刑務所(2)、ポースタル(2)などの施設を、また後者は認可学校(4)、リマンドホーム(5)、少年補導センター(2)、更生保護会(1)などの施設を監督している。

(11) モウラ・アリ開放刑務所

1954年に設立されたインドでいちばん古い開放刑務所であり、約240エーカーの敷地内に114名の受刑者が収容されている。多くの敷地が受刑者により開墾され、また、事務棟、看守棟、雑居棟、倉庫など全ての建物は収容者自らが建設したものである。米、野菜、果物の生産のほか最近では家畜の飼育にも力を入れており、生産物の多くは近隣の刑務所などに供給されており、年間の売り上げ高は40万ルピーに及び、これは職員の給料及び受刑者の生活費をまかなえるほどである。また、新しい試みとして、当刑務所から近隣の工場で働く外部通勤制を取り入れて社会復帰の準備をしている。

収容者は通常の刑務所で一定期間服役した長期受刑者のうちから選定された成績優良な者であり、特に初犯の殺人犯が多い。

(12) ハイデラバード中央刑務所

ハイデラバード市の中心街にある百年以上の古い歴史をもつ刑務所であり男子受刑者のための舎房のほかに隣接して女子受刑者用の舎房がある。前者の収容定員712名で、後者が60名である。所長以下120名の職員が働いており、普通の舎房のほか、病棟(40ベット)及び精神障害者用の舎房が独立してある。職業訓練としては、機織り、縫製、じゅうたん製造、石けん製造など多様である。女子棟では民間企業の協力を得て織物などの作業を営んでおり、受刑者に一定額の給料が払われている。受刑者の75%が無期受刑者であった。

(13) ハイデラバード女子認可学校

アンドラ・プラデン州で唯一の女子認可学校であり、所長、医者、看護婦、教員、職業指導員など17人の職員で100人の収容者(3才から18才)を扱っている。学科教育と職業訓練が主なプログラムであるが、一部の者は外部の学校へ通っている。職業指導に力を入れ、縫製、編物などの指導をし、作品は展示会に出品し販売している。

収容者の社会復帰のため保護観察官により環境調整が行われ、釈放後は3年間の保護観察に付される。

(14) 国立警察大学校

ハイデラバード市から8 km離れた丘陵にあり、220 エーカーという広大な敷地に本館、教室、図書館、寄宿舍(約200名収容)、講堂(定員583名)、体育館、運動場、小学校、病院などを持つ大キャンパスである。当校はインド全域の幹部警察官の研修所であり、幹部候補コース(9月)、幹部コース(1年)、上級コース(14週間)、犯罪防止コース(10日)などがある。幹部候補コースに参加するためには難しい全国レベルの試験をパスしなければならないが、入校後も試験や論文の提出などかなり厳しい研修が要求されるが、卒業の暁には、警察の幹部の座が約束されている。校長レイ氏は帰国研修員である。

## 2-3 研修に関する評価と要望

### (評価)

具体的な意見として次のようなものが出された。全インド刑務委員会のメンバーあるいは州矯正局次長として、日本の矯正制度を参考にして、①受刑者に対する科学的な分類制度の導入、②心理学者、精神科医、ソーシャルワーカー等専門職員の採用、③矯正職員に対する研修の充実、④保護観察、仮釈放制度の積極的活用、⑤刑務作業の改善等について意見具申をし、その結果多くの改善がなされた。最近、タミル・ナド州に矯正職員のための研修施設が設置されたが、この施設の運営及び研修内容等はUNAFEIのやり方をおおいに参考としている。犯罪データの収集、犯罪情勢の分析、その他各種の調査やリサーチをする上で研修で学んだことが役立っている。社会防衛研究所、あるいは国立インド警察大学校の教官として日本の刑事司法、犯罪者の処遇制度について講義しているが、それは日本で学んだことを基礎にしている。以上のような積極的な評価に対して、裁判官としては、インドと日本とは制度が相当程度異なり、アジアで学んだことが実践で十分に適用できないという評価もあった。しかし、刑事司法について言えば、起訴便宜主義にもとづく日本の検察行政のあり方は、捜査及び裁判の遅延の解消に役立つので具体的にその採用について検討し始めているという意見もあった。

### (要望)

研修期間については、高官コースはもう少し短かく、3週間ぐらいにすればセミナーに参加しやすいという意見が一部にあったが、概ね現行コースの期間でよいとする意見が多かった。また、リフレッシュコースを是非開いてくれという要望は当然のことながら強かった。研修人員についてもインドは広大な土地に多数の国民を抱えていることから研修コースごとに2人を採用して欲しいという要望が強かった。研修員の構成では日本の警察官の参加が少いという指摘があった。テーマについては、現在の研修のあり方でよいが、犯罪予防に関するテーマ、特に警察活動についてももっととりあげて欲しい、また、理論的なテーマより実際的なテーマに重点をおいて欲しい旨の要望が出された。研修設備としては、現在配布されて

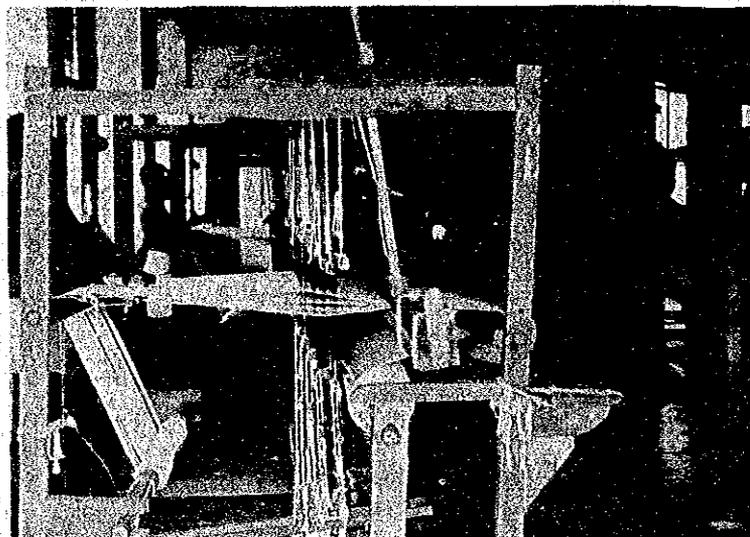
いる刑事司法及び矯正保護に関するマニュアルを最新の資料により改訂する必要があるし、また、国連関係の資料、図書の実が望まれる。日本以外の国で共同セミナーを開催することについては、社会防衛研究所は協力する用意が十分にあると表明していた。

UNAFEIの研究活動については、研修に比べて研究活動はあまり活発でないので更に充実して欲しい。特に各国の刑事司法に関する比較研究は有益である、リサーチャーとして帰国研修員の積極的活用が提案された。また、できれば各国の関係機関の研究活動に財政面その他の援助をして欲しい旨の要望もあった。

同窓会活動については、インドは広い国であり、全国レベルで1つにまとめることは困難であるが、ニューデリー、ハイデラバードでは帰国研修員同志が集まる機会はある。同窓会活動を活発にするためにアジ研が積極的に援助、助言して欲しいという要望があったが、一方では、同窓会活動ぐらいは自国政府が責任を負うべきだという前向きな姿勢の発言もあった。同窓会メンバーの中から連絡員を指名し、相互に連絡をとり、ミーティングをアジ研で開くことも考えて欲しいという要望も出された。

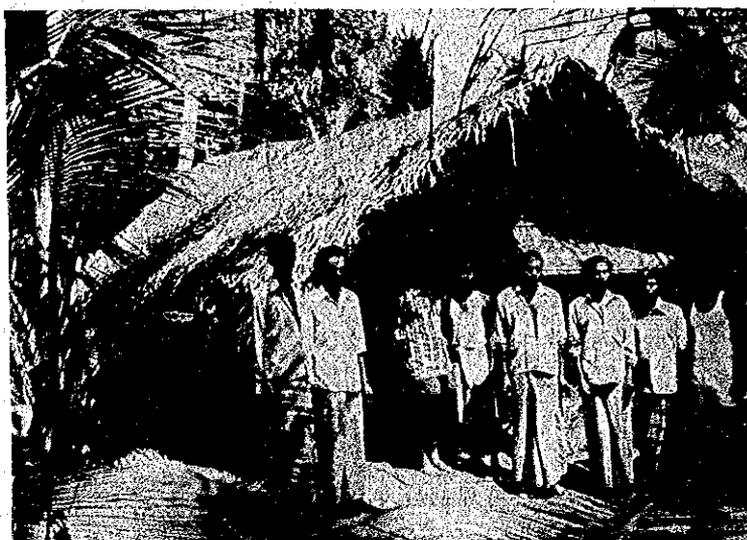
フォローアップについては、JICA及びUNAFEIのスタッフの訪問をもっと頻繁に定期的に行って欲しいという要望が強かった。

スリランカ・  
デバナヤガム法務大臣表敬



スリランカ・  
ワッピティウエラ少年院  
職業訓練風景

スリランカ・  
ミシリガラ釈放準備センター



### 3. スリランカ

#### 3-1 帰国研修員の概況

帰国研修員総数37名中退職した者6名、関係外機関へ転出した者2名であり、それらを除いて現在関係機関に所属している帰国研修員は29名である。そのうち面接した者は14名であり、その内訳は次のとおりである（詳細は別添資料③参照）。

- (1) 法務省事務次官
- (2) 法務省次官補
- (3) 矯正局長
- (4) 法務省上級検察官
- (5) 高等裁判所判事
- (6) 治安判事
- (7) パレケレ刑務所長
- (8) ネゴンボ刑務所長
- (9) 矯正局福祉課長
- (10) 元最高裁判所判事
- (11) 弁護士
- (12) 上級保護観察官
- (13) 警察庁次長

訪問した機関は、法務省、社会福祉省、コロombo少年裁判所、コロombo家庭裁判所、ワッピティウエラ少年院、パレケレ開放刑務所、アヌランダブラ開放刑務所、ネゴンボ開放刑務所、ミンリガラ釈放準備センター、矯正局研修所、検察庁、警察庁の合計12カ所である。

#### 3-2 訪問機関の概況

##### (1) 法務省

デバナヤガム法務大臣及びラドワティ事務次官（帰国研修員）に表敬した。当省はスリランカにおいて矯正行政を統轄する機関である。

##### (2) 社会福祉省

グナセケラ事務次官に表敬した。当省はスリランカにおいて社会福祉及び更生保護行政を統轄する機関である。

##### (3) パレケレ開放刑務所及び開放拘置所

全国に3つある開放刑務所の一つで、キャンディ市郊外にあり、コロomboから78km離れている。敷地は頂上から一望できる丘陵の斜面にあり、すぐ前を川が流れ美しく静かな環境である。境界地はバス道路に面している。1951年に古い軍隊の兵舎を引き継いだもので

受刑者が土地を開墾し農場とし、また舎房や官舎なども自らが建設した。収容定数 250 名で職員が 80 名である（農林省から派遣された農業指導員 1 人と助手 4 人が含まれている）。収容者は、長期受刑者のうち通常の刑務所で 2 年以上服役し成績良好な者である。所内全体が農耕地になっており、米や野菜のほかに豚や家禽類の飼育などを営んでいる。矯正局は生産性の向上に努めているが、余暇時間を利用して受刑者に自由に野菜の栽培や民芸品の製作を奨励して自分たちの収入にあてている。当刑務所には、さくも塀も全くないが、25 年の間に 3,000 人の受刑者を収容したが逃走者は 8 人だけである。

また、受刑者は地域社会のために道路作り等の奉仕活動を行っている。

当刑務所に隣接して世界でも初めてと思われる開放拘置所（Open Remand Prison）が設置されている。刑務所の過剰拘禁の解消策の 1 つと思われるが、未決拘禁者は希望すれば敷地内で自発的に農耕をして収入を得ることができる。

#### (4) ミシリガラ釈放準備センター

新しい行刑のあり方として注目を集めているのが当看守なき刑務所である。矯正局長の発想のもとで世界に先がけた企画は、1976 年、民間企業の資金援助を得て、土地改良委員会の所有地 29 エーカーを購入して始められたが、現在は 10 人の受刑者がココナツ栽培を中心にしながら酪農、草花栽培などを営み、通常の農家以上の生産をあげている。生産物は釈放受刑者共同組合に納入されており、受刑者は毎月報償金として 500 ルピー（約 7,500 円）が支給され、釈放時に手渡される。入所資格は、長期受刑者のうち残刑が 2 年で行刑成績が優秀な者である。受刑者の再社会の準備のために農業技術指導のほかに自助の精神の涵養に努めている。一時帰宅や家族の来訪も認められている。矯正局課長補作が週 1 回だけ視察に来る。

#### (5) ワッピティウエラ少年院

1940 年に建てられ、17 才以上 21 才以下の青少年でポースタル判決を受けた者を収容する矯正施設である。昼間は、学科指導及び職業訓練（農耕のほかに木工、機織り、自動車修理）を受け、夜は定員 15 人の舎房で監視なしに過ごす。

#### (6) ネゴンボ開放少年刑務所

35 エーカーの敷地に 104 人が収容され、32 人の職員（農業指導員 2 人を含む）が働いている。被収容者は主に 16 才から 21 才までの若年成人で、農耕（1,200 本のココナツ栽培）を営んでいる。初犯者 74%，再犯者 20%，文盲者 21%，窃盗罪 71%，刑期 1 年以下 13%，2 年以下 56% である。また、受刑者の約 40% が欠損家庭の出身である。被収容者は夜、3 棟の舎房で職員の監視なしで生活する。

#### (7) コロンボ警察本部

警視總監セネビラト氏に表敬した。次長スニダラリンガム氏は帰国研修員である。以下

のとおり犯罪状況及び犯罪対策について聴取した。スリランカ全体では、殺人や強盗などの凶悪犯は減少してきているが、土地やかんがいに関する争いが原因で殺人事件がしばしば発生する。強盗などの凶悪犯罪の取締りに軍隊が協力して効果をあげているが、法律的には捜査権を有しない軍人が警察官の犯人捜査及び逮捕に協力するという建前になっている。

少年非行については、多少外国文化の影響を受け始めてきているが、それ程社会問題にはなっていない。保護者の保護能力の欠如及び怠学が非行の原因になっている。

暴力組織はないし、密輸事件もほとんどない。

#### (8) コロンボ少年裁判所及び家庭裁判所

同一の建物のうち、一階が家庭裁判所、二階が少年裁判所である。治安判事アベイラトネ氏の少年審判を3件見学した後、家庭裁判所で同判事及びワッテ裁判官並びに家庭裁判所調査官4名と懇談した。児童少年事件の特徴は、文盲のために生年月日不明、両親不明の少年の取扱い、いわゆるAdoptionケースが多い。調査官は50件の家事事件の調査及び調停を取扱っている。

### 3-3 研修に関する評価と要望

#### (評価)

研修全般については前記のバングラデシュ及びインドの場合とだいたい同じであるが、次のような具体的な評価もあった。仮釈放・刑務所改革委員会のメンバーとして日本における犯罪者の処遇制度、特に恩赦及び仮釈放の制度をおおいに参考にしている。また、少年に対する矯正プログラムの改善、矯正職員の研修コースの導入、福祉センターの設置に努力した。

#### (要望)

研修のカリキュラムとしては、矯正保護及び刑事司法コースともかなりよくできているが、各国間の比較研究をさらに充実して欲しいし、アジアの刑事司法に関するマニュアルを最新の資料により改訂する必要がある。客員専門家の招へいについては、できるだけアジア地域からの客員を増やすべきであるし、帰国研修員を研究員あるいはスタッフとして採用して欲しい旨の要望もあった。そして、UNAFEIの研究活動が研修に比べてあまり活発でないのも更に充実して欲しい。また、できれば各国の関係機関の研究活動に財政面その他の援助を与えて欲しいし、調査研究のためのFellowshipを設けて欲しいなどの要望が出された。

図書・情報活動に関しては、帰国研修員が投稿できるようにして欲しい旨の要望があった。

同窓会に関しては、前最高裁判所判事を会長にして活動をしているが、活動をより発展させるために、アジ研スタッフをスリランカへ派遣してもらい同窓会主催のセミナーを開催したいし、できれば同窓会の活動費を一部補助してもらいたいと要望していた。

### Ⅲ 結 論

今回の巡回指導において帰国研修員及び関係職員から得た意見、要望を参考に、今後、アジア極東犯罪防止研修所が、その運営上留意すべき点をあげてみたいと思う。

第一は、いうまでもなく、当研修所で実施する国際研修を一層充実させることである。まず、研修の内容については、多年にわたる経験を基礎としながら工夫が重ねられてきただけに、基本的にはこれまでのゆき方を維持すべきであろう。今回の訪問国においても、当研修所がこれまで実施してきた研修の内容については高い評価が与えられている。ただ、各コースの主要議題の選定及び研修プログラムの作成にあたっては、関係諸国における刑事司法運用の実態についての正確な認識を深めることにより、各国及び研修参加者が真に期待するところを的確に把握し、これに応えられるように更に努めなければならない。今回の訪問国では、主要議題に関して、少年非行、犯罪予防特に警察活動、矯正施設の過剰収容、犯罪者処遇及び犯罪防止における女性の役割等に関連した事項をとり上げてほしい旨の要望が多く、またカリキュラムについては、比較研究及びフィールド・ワークの一層の充実を望む声が強かった。他方、研修の規模については、研修参加者の増加を要望する意見が、各国から強く表明された。この点については、現在計画中の当研修所の全面的な改築が完成した際、その実現に努力すべきであろう。その他アジア諸国からの客員専門家の増加、帰国研修員に対する再研修の実施等に対する要望が多く寄せられた。

第二は、国外研修ないし巡回研修を実施することである。今回の巡回指導において、われわれは、前に述べたように、最近のアジア諸国における犯罪の動向と対策、矯正施設及び刑事司法機関の活動状況ならびに犯罪者処遇及び犯罪防止に関する新しい試み等をめぐってセミナーを実施したが、その結果は非常に好評であり、今後このようなセミナーをできるだけ多く開催してほしい旨の要望も多かった。国外研修は、これに参加しうる者の範囲を拡げることになるだけでなく、各国が特に重点を置いて緊急に対策を講ずべき問題を討議するのに適しているところから、その実施方については、当研修所の諮問委員会や国際連合関係の会議においてもこれまで強い要望が繰り返されてきている。国外研修の本格的な実施にはなお種々の困難を伴うであろうが、地域内諸国が主催する国内研修に当研修所の教官を派遣して協力するなどのゆき方をも考慮しながら、各国の強い期待に応えることに努める必要がある。

第三は、調査研究及び資料の収集、提供を充実させることである。当研修所は、アジア極東地域内諸国の犯罪対策についていくつかの比較研究を行ったし、各国の犯罪情勢及び刑事司法制度に関するかなりの資料を収集してきたが、人的及び予算的な制約もあって、この面での活動はこれまで必ずしも満足すべきものではなかった。今回の巡回指導においても、調査研究面における活動の充実及び資料、情報の整備を要望する意見は各国で非常に強かった。このような要望に応えるためには、まず地域内諸国の政府機関、公私の関係団体及び個人との間の連携、協力を更に

一層強化することが必要である。この点について、インドの社会防衛研究所、警察大学、スリランカの矯正職員研修所及び各国の同窓会は、当研修所に対して積極的な協力の姿勢を見せていた。また、地域内諸国への研究者の派遣あるいは地域内諸国からの研究者の採用等についても当研修所の今後の課題として考慮すべきであろう。当研修所が刊行しているリソース・マテリアル・シリーズ (UNAFEI Resource Material Series) 及びニューズレターについても、今後は帰国研修員の研究論文の掲載や意見交換の場の提供等を通じてその内容の一層の充実をはかるべきである。

第四は、同窓会活動に対する協力である。スリランカには既に当研修所の帰国研修員による同窓会が作られており、バングラデシュでは、われわれの訪問を契機として同窓会が発足した。インドにおいても社会防衛研究所を中心に同窓会を発足させようとしている。今回の巡回指導において、われわれはどこの国においても帰国研修員による暖かい歓迎を受けた。彼らは、われわれが想像している以上に当研究所で過ごした日々を懐かしみ、研修終了後数年たった今日でも当研修所の活動に強い関心を示し、既に述べたように、調査研究及び資料、情報の収集等当研修所の活動に対して積極的な協力の態度を見せている。研修の効果を真に実りあるものとするためには、研修中のみならず研修後の働きかけが極めて重要であることはいうまでもない。当研修所としては、今後、国際協力事業団の協力も仰ぎながら帰国研修員の同窓会活動に対してできるだけ積極的な協力をしていくべきであろう。

最後に、建物その他の設備を抜本的に拡充、整備する必要がある。この点については、昭和55年度から56年度にかけて当所の敷地内に新庁舎及び寮舎を建築する計画が具体化し、現在そのための準備が進行中である。これが完成の暁には、当研修所は、建物、設備の面で真に国際機関としてふさわしい姿で生まれ変わることになるだろう。

終わりにあたって、今回のわれわれの巡回指導に対して絶大なる御協力をいただいた国際協力事業団、外務省及び訪問国の各関係機関に対して厚くお礼を申し上げます。

## 参 考 资 料



Questionnaire to Ex-participants of International Training and Seminar Courses by Japan International Cooperation Agency (JICA) and the United Nations Asia and Far East Institute for the Prevention of Crime and the Treatment of Offenders (UNAFEI)

Name:

Home address:

Your present office and position:

Official address:

Course attended:

(from                      to                      )

Please answer the following question.

1. Could you frankly evaluate the work of UNAFEI in term of its effect on your work after your attendance at the course?
2. Do you have any proposals or suggestions for the further improvement of the course?
  - (1) Theme of the course
  - (2) Composition of the participants
  - (3) Duration of the course
  - (4) Curriculum and contents
  - (5) Facilities and equipments
  - (6) Others
3. Do you have any suggestions or ideas for the further expansion of research activities of UNAFEI?
4. Is it possible and useful to have seminars jointly sponsored by Japanese Government (JICA and UNAFEI) and your Government in your country?
5. Do you have any requests to JICA and UNAFEI concerning the follow-up services for ex-participants of the course?
6. Do you have any comments or requests on UNAFEI Resource Material Series and Newsletter?
7. What is the possible role of UNAFEI in assisting Alumni Association in your country?

Signature \_\_\_\_\_

Date \_\_\_\_\_

(Please write in block letter or typewrite)

## 資料 2

## 訪問機関名簿

### BANGLADESH

- 1) Ministry of Law and Parliamentary Affairs  
Dacca
- 2) Ministry of Manpower Development and Social Welfare  
Dacca
- 3) Supreme Court of Bangladesh  
Dacca
- 4) Supreme Court Bar Association  
Dacca
- 5) Tongi Juvenile Court  
Tongi
- 6) Tongi Remand Home  
Tongi
- 7) Correctional Institution  
Tongi
- 8) External Resources Division, Ministry of Finance  
Dacca

### INDIA

- 1) Department of Economic Affairs, Ministry of Finance  
New Delhi
- 2) Ministry of Social Welfare  
New Delhi
- 3) Ministry of Home Affairs  
New Delhi
- 4) National Institute of Social Defence, Department of Social Welfare  
New Delhi
- 5) Tihar Jail  
Delhi
- 6) Delhi Remand Home  
Delhi
- 7) High Court  
Delhi
- 8) Office of Secretary of Law and Judicial Administration  
Delhi
- 9) Office of Secretary of Home Department, Andhra Pradesh State  
Hyderabad

- 10) Office of Inspector General of Prisons and Director of Correctional Services, Andhra Pradesh State  
Hyderabad
- 11) National Police Academy, Ministry of Home Affairs  
Hyderabad
- 12) Central Prison, Hyderabad Jail Department, Andhra Pradesh State  
Hyderabad
- 13) Girls Certified School  
Hyderabad
- 14) Moula Ali Open Air Prison, Jail Department, Andhra Pradesh State  
Hyderabad

SRI LANKA

- 1) Ministry of Justice  
Colombo
- 2) Borstal School for Juvenile Offenders, Ministry of Justice  
Wathupitiwela
- 3) Pallekelle Open Prison Camp, Ministry of Justice  
Kandy
- 4) Open Remand Camp, Ministry of Justice  
Kandy
- 5) Anuradhapura Open Prison Camp, Ministry of Justice  
Anuradhapura
- 6) Negombo Open Camp for Youthful Offenders, Ministry of Justice  
Negombo
- 7) Mithirigale Work Release Centre, Ministry of Justice  
Negombo
- 8) Centre for Research and Training in Corrections, Ministry of Justice  
Colombo
- 9) Office of Inspector General of Police  
Colombo
- 10) Juvenile Court  
Colombo
- 11) Family Court  
Colombo
- 12) Ministry of Social Services  
Colombo
- 13) Office of Attorney General  
Colombo

### 資料 3

### 面接者名簿

#### BANGLADESH

##### Ministry of Law and Parliamentary Affairs:

- 1) Mr. A. R. Chowdhury, Secretary
- 2) Mr. Khandker Mahbub Hossein, Deputy Secretary

##### Ministry of Manpower Development and Social Welfare:

- 1) Mr. A. B. S. Sofder, Secretary
- 2) Mr. Mizanur Rahman Shelly, Director of Social Welfare
- 3) Mr. Shumsul Haque, Deputy Director of Social Welfare
- 4) Mr. Md. Humayun Kabir, Section Officer

##### Supreme Court:

- 1) Mr. K. M. Baker, Attorney General
- 2) Mr. K. F. Akbar, Ex-Solicitor and Joint Secretary, Ministry of Law and Parliamentary Affairs

##### Tongi Juvenile Court, Remand Home and Correctional Institution

- 1) Mr. Mahmud Hasson, Magistrate 1st Class of the Juvenile Court
- 2) Mr. Khundker Abdul Matin, Superintendent, Correctional Institute
- 3) Mr. Daud Abdul Matin, Probation Officer
- 4) Mrs. Jusne Ara Latif, Chief Probation Officer
- 5) Mrs. Sadequa Shafiulla, Public Relation Officer, Department of Social Welfare
- 6) Mr. Afsaruddin Ahmed, Chairman, Department of Sociology, Dacca University

##### Supreme Court Bar Association:

- 1) Dr. Alim Al Razee, Ex-President, Supreme Court Bar Association
- 2) Mr. Abdul Hasib, Vice-President of the Supreme Court Bar Association
- 3) Mr. Shabuddin Ahamed, Government Advocate on Record

##### External Resources Division, Ministry of Finance:

Mr. A. W. Chowdhury, Deputy Secretary

##### UNAFEI Alumni Meeting:

- 1) Mr. MD. Shamsul Haque, Deputy Director, Department of Social Welfare
- 2) Mrs. Maleka Khan, Joint Secretary, Association for Correction and Social Reclamation
- 3) Mrs. Begun Nazma Quader, Project Secretary, Bangladesh Girl Guides Association

- 4) Mr. A. N. M. Abdul Hakim, Probation Officer, Youth Welfare Centre
- 5) Mr. MD. Iftikar Rasool, Sub-Judge & Assist Session Judge, 2nd Court, Chittagong
- 6) Mr. Abdul Raquib Khandaker, Inspector General of Police, Headquarters
- 7) Mr. Harun-ur-Rashid, Assistant Director, Department of Social Welfare, Ministry of Manpower Development and Social Welfare.
- 8) Mr. MD. Abdul Majid, Social Welfare Organizer, Urban Community Development Project, Department of Social Welfare
- 9) Mr. MD. Ismail Husain, Assistant Inspector-General, Police Department
- 10) Mr. Daud Abdul Matin, Probation Officer, Office of the Probation Officer, Department of Social Welfare
- 11) Mr. MD. Abdus Salam, Section Officer, Criminal Section, Solicitor's Branch, Ministry of Law and Parliamentary Affairs
- 12) Mr. Khundker A. K. M. Abdul Matin, Superintendent, Institution for Correctional Services, Department of Social Welfare, Ministry of Manpower Development and Social Welfare
- 13) Mr. Taslim Uddin Ahmed, Section Officer, Ministry of Law and Parliamentary Affairs

INDIA (Delhi)

Department of Economic Affairs, Ministry of Finance:

Mrs. Radha Singh, Deputy Secretary

Ministry of Social Welfare:

- 1) Mr. Saran Singh, Secretary
- 2) Mr. B. N. Bahadur, Deputy Secretary

Ministry of Home Affairs:

Mr. S. V. Sharan, Joint Secretary

National Institute of Social Defence:

- 1) Dr. Hira Singh, Director
- 2) Mr. J. S. Goel, Research Officer
- 3) Mr. S. K. Bhattacharyya, Deputy Director (Research)
- 4) Mr. V. B. Bhatia, Research Officer
- 5) Mr. B. R. Sohal, Administrative Officer
- 6) Dr. Devakar, Head of Division (Training)

Tihal Jail:

所長ほか数名の関係職員

Delhi Remand Home:

少年裁判所判事 2 名、所長、保護観察官 2 名ほか数名の関係職員

High Court:

高等裁判所判事 2 名、事務局長ほか数名の関係職員

Office of Secretary of Law and Judicial Administration:

Mr. N. C. Kochhar, Secretary

UNAFEI Alumni Meeting:

- 1) Mr. Brahma Narain Bahadur, Deputy Secretary, Ministry of Social Welfare
- 2) Mr. Naresh Chandra Kochhar, Secretary (Law & Judicial), Secretary (Metropolitan Council)
- 3) Mr. Om Parkash Singla, Presiding Officer, Industrial Tribunal and Judge Labours Court
- 4) Mr. Jagdish Chandra, Additional District & Session Judge
- 5) Mr. Mahara Krishan Chawla, Additional District and Session Judge
- 6) Mr. Dalip Chand Aggarwal, Additional District and Session Judge
- 7) Mr. H. C. Goel, Additional District & Session Judge
- 8) Dr. Hira Singh, Director, National Institute of Social Defence, Ministry of Social Welfare
- 9) Mr. Jagbir Singh Goel, Research Officer, National Institute of Social Defence, Ministry of Social Welfare
- 10) Mr. Sunil Kanta, Bhattacharyya, Deputy Director, (Research), National Institute of Social Defence, Ministry of Social Welfare
- 11) Mr. Ven Bhushan Bhatia, Senior Research Officer, National Institute of Social Defence, Department of Social Welfare
- 12) Mr. B. R. Sohal, Administrative Officer, National Institute of Social Defence, Ministry of Social Welfare
- 13) Dr. Devaker, Head of Division (Training), National Institute of Social Defence, Ministry of Social Welfare
- 14) Mr. Ishwar Chandra Dwivedi, Deputy Inspector General of Police, Central Bureau of Investigation
- 15) Mr. Vijayanand Pandeya, Deputy Inspector General of Police, Central Bureau of Investigation, Ministry of Home Affairs

- 16) Mr. Ranjan Kumar Mazumder, Under Secretary, Department of Justice and Company Affairs
- 17) Mrs. Shakuntla Lall, Secretary General, Association for Social Health in India

INDIA (Hyderabad)

Office of Inspector General of Prisons and Director of Correctional Services:

Mr. Mahmood bin Muhammad, Inspector General of Prisons,  
Director of Correctional Services

National Police Academy:

Mr. Bijion Krishna Roy, Director, National Police Academy  
ほか教官12名

Central Prison, Hyderabad:

Mr. Y. C. Thimma Reddy, Superintendent  
ほか数名の関係職員

Girls Certified School:

少年裁判所判事、所長ほか数名の関係職員

Moula Ali Open Air Prison:

所長ほか数名の関係職員

Former Participants Meeting at Hyderabad:

- 1) Mr. Mahmood bin Muhammad, Inspector-General of Prisons,  
Director of Correctional Services
- 2) Mr. Bijion Krishna Roy, Director, National Police Academy
- 3) Mr. M. Vinaya Kumar, Chief Probation Superintendent, Office of  
the Inspector General of Prisons
- 4) Mr. Mulla Venkata Subba Reddy, Superintendent, Central Prison,  
East Godavari District
- 5) Mr. K. L. N. Reddy, Director, Regional Institute of Correctional  
Administration, Vellore (N. A.) Tamil Nadu

SRI LANKA

Ministry of Justice:

- 1) Mr. K. W. Devanayagam, Minister of Justice
- 2) Mr. Shelton Ranaraja, Deputy Minister of Justice
- 3) Mr. Walter Laduwahetty, Secretary
- 4) Mrs. M. V. Barr-Kumara Kulasinghe, Assistant Secretary
- 5) Mr. J. P. Delgoda, Commissioner of Prisons

Borstal School for Juvenile Offenders:

Mr. Percy Fernando, Superintendent

ほか数名の関係職員

Pallekelle Open Prison Camp:

Mr. Nalin Smarasekera, Superintendent

ほか数名の関係職員

Open Remand Camp:

Mr. Nalin Samarasekera, Superintendent

ほか数名の関係職員

Anurandhapura Open Prison Camp:

Mr. D. Bulumulle, Superintendent

ほか数名の関係職員

Negombo Open Camp for Youthful Offenders:

Mr. D. A. Wickolmasinghe, Superintendent

ほか数名の関係職員

Centre for Research and Training in Corrections:

所長、次長、研究官、教官等 21 名

Office of Inspector General of Police:

- 1) Mr. Ana Seneviratne, Inspector General of Police
- 2) Mr. Sundara Lingam, Deputy Inspector General of Police

Juvenile Court:

Miss Pearl Abeyratne, Magistrate

Family Court:

Mr. Agal watte, Judge

Family Councillor 数名

Ministry of Social Services:

Mr. T. G. Gunasekera, Secretary of Social Services

Judicial Officers Association:

Mr. G. C. W. de Silva, President, Judicial Officers Association  
ほか判事 15 名

UNAFEI Alumni Meeting:

- 1) Mr. W. A. M. J. P. Delgoda, Commissioner, Prison Department
- 2) Mr. Nanayakkara Nalin Samarasekera, Superintendent, Pallekella Open Prison Camp
- 3) Mr. Don Ariyaratne Wickremasinghe, Superintendent, Negombo Open Camp
- 4) Mr. L. H. R. Peiris
- 5) Mr. Walter Laduwahetty, Secretary, Ministry of Justice
- 6) Mr. N. H. A. Karunaratne, Assistant Secretary, Ministry of Justice
- 7) Mr. B. D. K. S. Wijewardane, Magistrate, Magistrate Court, Kandy
- 8) Mr. P. R. P. Perera, Senior State Counsel, Attorney General Department
- 9) Mr. P. L. D. Premaratne, Senior State Counsel, Attorney General Department
- 10) Mr. Endrawansa Perera Amerasinghe, Superintendent, Head, Welfare Section, Prison Department
- 11) Mr. L. R. Karunanayake, Senior Probation Officer, Ministry of Social Service
- 12) Mr. D. S. D. P. R. Senanayake, Attorney-at-Law, Colombo
- 13) Mr. Rudra Rajashingham, Deputy Inspector General of Police, Police Headquarters
- 14) Mr. Alexis Leo De Silva, Superintendent of Prisons, Negombo
- 15) Mr. D. G. Jayalath, Judge of High Court

## BANGLADESH

- 1) Mr. MD. Shamsul Haque (1963, No. 3)  
Deputy Director, Social Welfare, Department of  
Social Welfare, Dacca
- 2) Mr. MD. Sultan Maih (1964, No. 4)  
Magistrate, District Criminal Court, Dacca
- 3) Mr. Kadi Abdul Awal (1964, No. 6)  
Inspector General of Prisons, Dacca Division, Dacca Central Jail,  
Dacca
- 4) Mr. Salahuddin Ahmed (1964, No. 7)  
Additional Secretary-in-Charge, Ministry of Posts, Shipping &  
IWT Government, Dacca
- 5) Mrs. Maleka Khan (1969, No. 20)  
Joint Secretary, Association for Correction and Social  
Reclamation, Dacca
- 6) Mrs. Begun Nazma Quader (1969, No. 20)  
Project Secretary, Bangladesh Girl Guides Association, Dacca
- 7) Mr. A. N. M. Abdul Hakim (1971, No. 25)  
Probation Officer, Youth Welfare Centre, Faridpur
- 8) Mr. Abdul Majid Mia (1971, No. 26)  
Section Officer, Works Power and Irrigation Department, Dacca
- 9) Mr. MD. Iftikar Rasool (1974, No. 36)  
Sub-Judge & Assistant Sessions Judge, 2nd Court, Chittagong
- 10) Mr. Nirmalendu Roy (1974, No. 38)  
Superintendent, Barisal District Jail
- 11) Mr. MD. Abdur Rub (1974, No. 38)  
Superintendent, Kushtia District Jail
- 12) Mr. Abdur Raquib Khandaker (1975, No. 39)  
Inspector General of Police, Headquarters, Dacca
- 13) Mr. Harun-ur-Rashid (1975, No. 40)  
Assistant Director, Department of Social Welfare,  
Ministry of Labour and Social Welfare, Dacca
- 14) Mr. MD. Abdur Majid (1976, No. 43)  
Social Welfare Organizer, Urban Community Development Project,  
Department of Social Welfare, Bogra

(注) 下線は面接者を示す。

- 15) Mr. Muhammad Abdul Mannan (1976, No. 44)  
Cabinet Affairs Secretariat, Establishment Division,  
Additional Deputy Commissioner, Rajshai
- 16) Mr. MD. Ismail Husain (1977, No. 47)  
Assistant Inspector-General, Police Department, Dacca
- 17) Mr. Muhammad Khadem Ali (1978, No. 48)  
Deputy Secretary, Ministry of Manpower Development  
and Social Welfare, Dacca
- 18) Mr. Daud Abdul Matin (1978, No. 49)  
Probation Officer, Office of the Probation Officer,  
Department of Social Welfare, Dacca
- 19) Mr. MD. Abdus Salam (1978, No. 50)  
Section Officer, Criminal Section, Solicitor's Branch,  
Ministry of Law and Parliamentary Affairs, Dacca
- 20) Mr. Khundker A. K. M. Abdul Matin (1979, No. 52)  
Superintendent, Institution for Correctional Services,  
Department of Social Welfare, Ministry of Manpower Development  
and Social Welfare, Dacca
- 21) Mr. Taslim Uddin Ahmed (1979, No. 53)  
Section Officer, Ministry of Law & Parliamentary Affairs, Dacca

INDIA

- 1) Mr. D. N. Ray (1963, No. 2) - Retired  
Former Director, Probation Services, Prison Department,  
Bihar State
- 2) Mr. Gampatram B. Thakar (1964, No. 5)  
Deputy Director, Social Welfare, Directorate of Social Welfare,  
Ahmedabad
- 3) Mr. K. L. N. Reddy (1965, No. 9)  
Director, Regional Institute of Correctional Administration,  
Government of Tamil Nadu
- 4) Mr. V. K. Toraskar (1965, Nos. 9 & 24)  
Deputy Inspector General of Prisons, Western Region, Maharashtra
- 5) Mr. M. Vinaya Kumar (1966, No. 12)  
Chief Probation Superintendent, Office of the Inspector General of  
Prisons, Hyderabad
- 6) Mr. G. U. Pandya (1967, No. 14) - Retired  
Former Deputy Inspector-General of Prisons, Gujarat

- 7) Mr. Hira Singh (1977, Nos. 13 & 45)  
Director, National Institute of Social Defence, Department of Social Welfare, New Delhi
- 8) Mr. Ishwar Singh Kadan (1967, No. 16) - Deceased
- 9) Mr. J. S. Kurdukar (1968, No. 19)  
Chief Probation Superintendent, Office of the Inspector General of Prisons, Hyderabad
- 10) Mrs. Shakuntla Lall (1969, No. 20)  
Secretary General, Association for Social Health in India, New Delhi
- 11) Mr. Jagbir Singh Goel (1969, No. 21)  
Research Officer, National Institute of Social Defence, Department of Social Welfare, New Delhi
- 12) Mr. Sunil Kanta Bhattacharyya (1970, No. 23)  
Deputy Director, (Research), National Institute of Social Defence, Department of Social Welfare, New Delhi
- 13) Mr. Vishwambhar Nath (1979, No. 25)  
Deputy Inspector General of Police, Central Bureau of Investigation, Cabinet Secretariat, New Delhi
- 14) Mr. Ramalingam R. (1971, No. 27) - Retired  
Former Superintendent of Police
- 15) Mr. John Lobo (1972, No. 30)  
Deputy Inspector General of Police, Central Bureau of Investigation, Cabinet Secretariat, New Delhi
- 16) Mr. Subramania Iyer Balakrishnan (1973, No. 32) - Retired  
Former Joint Secretary, the Government of India
- 17) Mr. Dhanesh Chandra Nath (1972, No. 31) - Retired
- 18) Mr. Om Parkash Singla (1974, No. 36)  
Presiding Officer, Industrial Tribunal and Judge Labour Court, Delhi
- 19) Mr. W. I. Davaram (1973, No. 34) - Retired
- 20) Mr. Mahmood bin Muhammad (1974, No. 35)  
Inspector-General of Prisons, and Director of Correctional Services, Hyderabad
- 21) Mr. Mahesh Dutta Dikshit (1975, No. 39)  
Deputy Inspector General of Police, Uttar Pradesh
- 22) Mr. Natesan Krishnaswamy (1975, No. 39) - Retired  
Former Deputy Inspector General of Police, Tamil Nadu

- 23) Mr. Jagdish Chandra (1975, No. 41)  
Additional District & Session Judge, Delhi
- 24) Mr. Ishwar Chandra Dwivedi (1975, No. 41)  
Deputy Inspector General of Police, Central Bureau of Investigation, New Delhi
- 25) Mr. Bijion Krishna Roy (1975, No. 40)  
Director, National Police Academy, Hyderabad
- 26) Mr. Mahara Krishan Chawla (1976, No. 42)  
Additional District and Session Judge, Delhi
- 27) Mr. Radhakant Saxena (1976, No. 43)  
Inspector General of Prisons, Jaipur, Rajasthan
- 28) Mr. Daya Shankar Bhatnagar (1976, No. 44)  
Deputy Inspector General of Police, Central Reserve Police Forces, New Delhi
- 29) Mr. Ved Bhushan Bhatia (1977, No. 46)  
Senior Research Officer, National Institute of Social Defence, Department of Social Welfare, New Delhi
- 30) Mr. Vijayanand Pandeya (1978, No. 48)  
Deputy Inspector General of Police, Central Bureau of Investigation, Ministry of Home Affairs, New Delhi
- 31) Mr. Khan Israr Ahmed (1978, No. 49)  
Superintendent, Central Jail, Jabalpur
- 32) Mr. Vinod Kumar Jain (1978, No. 50)  
Deputy Inspector General of Police, Police Headquarters, Uttar Pradesh
- 33) Mr. Naresh Chandra Kochhar (1978, No. 50)  
Secretary (Law and Judicial), Secretary (Metropolitan Council), Delhi
- 34) Mr. Dalip Chand Aggarwal (1979, No. 51)  
Additional District and Session Judge, Delhi
- 35) Mr. Brahma Narain Bahadur (1979, No. 51)  
Deputy Secretary, Ministry of Social Welfare, New Delhi
- 36) Mr. Mulla Venkata Subba Reddy (1979, No. 52)  
Superintendent, Central Prison, Rajahmundry, East Godavari District, Andhra Pradesh
- 37) Mr. Ranjan Kumar Mazumder (1979, No. 53)  
Under Secretary, Department of Justice, Ministry of Law, Justice & Company Affairs, Delhi

- 38) Mr. H. C. Goel (1978, No. 54)  
Additional District and Session Judge, Delhi

SRI LANKA

- 1) Mr. F. D. L. Ratnaik (1963, No. 2) - Retired
- 2) Mr. W. A. M. J. P. Delgoda (1963, No. 3)
  - 3) Commissioner, Prison Department, Ministry of Justice, Colombo
- 4) Mr. E. L. Fernando (1964, No. 7)  
Principal, Teinity College, Kandy
- 5) Mr. H. V. Perera (1965, No. 10)  
Head Master, Classification Centre and Certified School,  
Kelania
- 6) Mr. J. A. G. Senewitratne (1966, No. 11) - Retired
- 7) Mr. L. H. R. Peiris (1967, No. 15) - Retired
- 8) Mr. D. G. Jayalath (1968, No. 18)  
Judge of the High Court, Avissawella, Avissawella
- 9) Mrs. Irangani Ratnatunga (1969, No. 20)  
Probation Officer, Department of Probation Services and Child  
Care, Probation Office, Juvenile Court, Colombo
- 10) Mr. J. A. R. Sanders (1969, No. 21) - Retired
- 11) Mr. W. M. A. Cuda B. Unantenne (1970, No. 25)  
Assistant Secretary, Ministry of Colombo Hospitals and Family  
Health, Colombo
- 12) Mr. L. V. P. Wettasinha (1971, No. 26)  
Senior Assistant Secretary, Ministry of Justice, Colombo
- 13) Mr. Don Simon Karannagoda (1970, No. 27)  
Assistant Commissioner of Probation and Child Care Services,  
Ministry of Social Services, Colombo
- 14) Mr. D. K. D. S. Abhayanayake (1972, No. 29)  
Assistant Secretary, Ministry of Justice, Colombo
- 15) Mr. Sanath Ratnayake Weerakoon (1972, No. 29) - Transferred to the  
other Ministry  
Former Assistant Commissioner of Probation and Child Services,  
Probation and Child Care Services Department, Colombo
- 16) Mr. Walter Laduwahetty (1972, No. 31)  
Secretary, Ministry of Justice, Colombo
- 17) Mr. Noel Tittawella (1973, No. 32)  
Judge, Supreme Court, Colombo

- 18) Mrs. Viola Kemawathie de Silva (1973, No. 33)  
Probation and Child Care Officer, Juvenile Court, Colombo
- 19) Mr. K. N. Manickanadarasa (1974, No. 35)  
Assistant Commissioner of Probation and Child Care Services,  
Ministry of Social Services, Colombo
- 20) Mr. Kenneth Seneviratne (1974, No. 36)  
Deputy Director of Public Prosecutors, Attorney General Department,  
Colombo
- 21) Mr. G. F. H. Aturupane (1974, No. 36) - Retired
- 22) Mr. Abeyratne Wanasinghe (1974, No. 38)  
Assistant Commissioner, Probation and Child Care Services,  
Ministry of Social Services, Colombo
- 23) Mr. Rudra Rajashingham (1975, No. 39)  
Deputy Inspector General of Police, Police Headquarters, Colombo
- 24) Mr. Alexis Leo De Silva (1975, No. 40)  
Superintendent of Prisons, Negombo
- 25) Mr. Walter Wijayawardhena Nanayakkara (1975, No. 40)  
Assistant Commissioner, Department of Probation and Child Care  
Services, Galle
- 26) Mr. Denis Dhanesha Gunasekera (1975, No. 41)  
Probation Officer, Department of Probation and Child Care Services,  
Kandy
- 27) Mr. Ranjit Abeysuriya (1975, No. 41)  
Additional Director of Public Prosecutions, Colombo
- 28) Mr. J. R. M. Perera (1976, No. 42)  
High Court Judge, Colombo
- 29) Mr. Don Ariyaratne Wickremasinghe (1976, No. 43)  
Superintendent of Prisons, Colombo
- 30) Mr. P. R. P. Perera (1976, No. 44)  
Senior State Counsel, Attorney General's Department, Colombo
- 31) Mr. L. R. Karunanayake (1977, No. 46)  
Senior Grade Probation Officer, Department of Probation and Child  
Care Services, Ministry of Social Services, Colombo
- 32) Mr. D. S. D. P. R. Senanayake (1977, No. 47) - Retired  
Attorney-at-Law
- 33) Mr. Nanayakkara Nalin Samarasekera (1978, No. 49)  
Superintendent, Pallekelle Open Prison Camp
- 34) Mr. N. H. A. Karanaratne (1978, No. 50)  
Assistant Secretary, Ministry of Justice, Colombo

- 35) Mr. B. D. K. S. Wijewardane (1979, No. 51)  
Magistrate, Magistrate Court, Kandy
- 36) Mr. Endrawansa Perera Amerasinghe (1979, No. 52)  
Superintendent of Prisons (Welfare), Head, Welfare Section,  
Prison Department, Ministry of Justice, Colombo
- 37) Mr. P. L. D. Premaratne (1979, No. 53)  
Senior State Counsel, Attorney-General Department, Colombo







JICA